

宮古・八重山の御嶽と神社

—近代沖縄の地域社会と祭祀再編—

この公開研究会では、沖縄県の宮古・八重山の近代における伝統的な祭祀と神社について考える。「近代沖縄における祭祀再編と神社」研究班では、2017年度に沖縄の御嶽と神社の研究者を沖縄から招き公開研究会を開催した。これは近代における祭祀再編を理解する前提として、御嶽と神社の両者の視点で前近代における琉球の祭祀がどのようなものであったかを考え、議論するものであった。その成果を踏まえ、現地調査も行っている。

今回の公開研究会は、再編と地域のかかわりや神社の創建問題を具体的に考えたい。具体的な地域としては、宮古・八重山地方を取り上げる。宮古・八重山地方は、沖縄島から遠距離のため独自の文化圏となっている。そのなかで、宮古地方では神社が比較的定着しているように見え、一方で、八重山地方は琉球時代からの伝統的祭祀が比較的残っているようにも見える。そこで、公開研究会では宮古・八重山の研究者を招き、それぞれの地域の事例のなかで地域と祭祀の問題を考えたい。あわせて、宮古島で現代の祭祀を調査記録している写真家の報告も加え、現状についての議論も行いたい。



沖縄島



宮古神社 (宮古島)



天川御嶽 (石垣島)

講師紹介

- 下地和宏 (しもじ・かずひろ) 宮古島市史編纂委員会委員長
1946年宮古島市(旧平良市)生まれ。1973年琉球大学史学科卒業。城辺町教育委員会を経て、2007年宮古島市総合博物館長を最後に定年退職。現在、宮古郷土史研究会会長も務める。
- 大田静男 (おおた・しずお) 石垣市立博物館協議会会長
1948年石垣市生まれ。現在、石垣市文化財審議会委員も務める。主著:「八重山戦後史」「八重山の芸能」「八重山の戦争」「夕凧の島」
- 比嘉豊光 (ひが・とよみつ) 写真家
1950年読谷村生まれ。琉球大学美術工芸科卒業。主な写真集等:『光るナナムイの神々』『赤いゴヤー』『わったー島クトゥバで語る戦世』



会場(神奈川大学横浜キャンパス 23号館)へのアクセス

- 東急東横線「白楽駅」または「東白楽駅」下車 徒歩13分
- 横浜駅西口バスターミナルから横浜市営バス
1 番乗場 36系統 菅田町 / 緑車庫行 - 約14分 「神奈川大学入口」下車 徒歩5分
1 番乗場 82系統 八反橋 / 神大寺入口行 - 約14分 「神奈川大学入口」下車 徒歩5分
※ 駐車場がありませんので、自家用車でのご来場はご遠慮ください。

問い合わせ 神奈川大学 非文字資料研究センター

〒221-8686 神奈川県横浜市神奈川区六角橋 3-27-1
電話 045-481-5661 (内線 3532)
HP <http://himoji.kanagawa-u.ac.jp/>